



西諸県地区小中学校音楽大会

12日（金）に文化会館で西諸県地区小中学校音楽大会があり、本校からは、3年生43名が参加しました。

3年B組が「信じる」を合唱した後に3年生全員で「幸せ」を合唱しました。会場で聞いていた他の中学生や先生方を魅了するすばらしい合唱でした。3年生は、合唱コンクールが終わってからほぼ毎日、放課後に練習をしていました。そういう日頃の取組が分かっている本校職員は感動もひとしおだったことだろうと思います。改めて文化発表会・合唱コンクールを振り返り、子どもたちのパワーを感じることができました。

3年生の皆さん、すばらしい合唱をありがとうございました。次は入試に向けて頑張りましょう。『受験は団体戦』です。



わりと身近にネット依存

数年前、九州保健福祉大学の佐藤圭創教授の講演を聞く機会がありました。佐藤先生は感染症等の権威でもありますが、お話の一部でネット依存に関する部分がありましたので紹介します。

- ネット依存は、賭博依存と同じ病である。
- 1対多のメディアは傷害性が強い。
- SNSは思春期の子どもの正常な発達に害である。
- 図書館や新聞などで自分で物事を調べることをもっと重視していきたい。
- ネット依存により、相手の心情を読み取れない。自分の感情を抑えきれない。現実の人間とのコミュニケーションができなくなる弊害が出る。
- 何か分からないことがあると、すぐにネット検索する人が増えている。ネットは容易に結果が分かる反面、物事を深く考えなくなり、すぐに答えを求めてしまう。ネット検索癖から、答えのない問題を考える力を育てていかななくてはならない。



新しい学習指導要領でも、知識より学び方や思考パターンを重視する方向性が示されています。知識の量である「何を知っているか」から「それを使って何ができるようになるのか」への転換が問われています。これからの社会、ネット検索で簡単に答えが出ることしか答えられない人、自分の頭で物事を考えたり、思考したりできない人は必要とされなくなるでしょう。考えること、思考すること、自分の意見を述べるのがますます重要になります。

なぜ勉強が必要か？・・・勉強すると何が変わるのか？

アップル社のカリスマ経営者だったスティーブ・ジョブスは、経済的理由で大学をすぐ中退しました。しかし、勉強を続けたくて友人の寮にもぐり込み、自分の好きな講義を内緒で受けたといいます。彼はその大学でカリグラフィという美しい文字を書く授業に感動し、一生懸命勉強したといいます。これは美術のレタリングという授業と同じと考えていいと思います。

その美意識が iPhone や iPad などの美しいデザインの製品に生きることとなりました。美術は音楽とともに美的な感性を豊かにします。



国語は情操を育てるとともに、日本語がすべての勉強の基礎となります。コミュニケーションツールとしてことばの役割は重要です。数学が苦手な人で、国語力がなくて問題の意味が理解できていない人など結構いるといいます。もちろん日本語の多用な表現を通しての感受性も高まります。

社会は自分の生活を知る基盤になります。地理、歴史は生活の横軸、縦軸の学習です。

数学は何のために勉強するのか。複雑な世の中では $1 + 1 = 1$ であったり $1 + 1 = 3$ であったりすることもあるかもしれません。 $1 + 1 = 2$ は数学での決まり事です。 $1 + 1 = 2$ と定義することで、ルールの中での約束事として次の段階に進めます。それが論理的な思考力を育てます。弁護士は数学を使わなくとも論理的な思考力が必要です。

理科は、不思議だと思い、観察して確かめ、考えること、謎を解く探求心を育てます。

その他の教科も大切な勉強ばかりです。各教科それぞれに将来に生きてくる大切な意義があります。そんな本質的な意義を知りたいければ、時間のある時に、教科の先生に「なぜ先生はこの教科に惹かれたのですか？」と質問してみるといいでしょう。きっと答えが返ってくるはずです。「学ぶ」ということはすべての人にとって必要です。

勉強すると何が変わるのか？勉強は、景色を見るとき、自分の立ち位置の高さだと思ってください。土台が高くなればなるほど遠い世界が見える。運動場で見える景色と愛宕山の頂上から見える景色は拮据が違います。高いところで見た方が、自分の進みたい世界が無限に広がるのです。学校で教科書を使って学ぶことだけでなく、体験や経験を通して学ぶことや、人の経験を追体験する読書という方法もあります。ぜひ充実した学びを身に付けてほしいと願います。